

## 事業概略書

事業名	障害者支援の在り方に関する調査研究														
事業目的	本事業は、現状の障害福祉施策を取り巻く新たな課題を整理した上で、将来を見据えたあるべき施策の方向性を提示すると共に、それらを展開していくために検討すべき論点を明らかにすることを目的として実施した。														
事業概要	<p>有識者による検討委員会（14名）を計6回開催し、また、そのうち3回は各検討テーマに知見のあるゲストスピーカーを招待し講演いただきつつ、その内容も踏まえた検討を行った。検討テーマは次のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="416 674 1469 1496"> <thead> <tr> <th colspan="2">主な議題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>・検討方針、論点案、今後のスケジュール</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>・精神障害者への地域生活支援の推進について ・ゲストスピーカー講演 ➢精神科病院からの地域移行支援の現場から感じていること ➢愛媛県愛南町の実践より</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>・障害児を含めた児童へのインクルーシブな支援の推進について（幼児期・学齢期） ・ゲストスピーカー講演 ➢インクルージョンと発達障害の人たちの権利保障 ➢学齢期の発達障害児童の現状と課題</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>・障害者の就労、社会参加等の促進に関する支援の推進について（青壮年期・高齢期） ・ゲストスピーカー講演 ➢青壮年期の就労支援の現状と課題について</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>・報告書案検討</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>・報告書案検討</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、報告書のとりまとめに当たっては、検討会の前後に事前協議を座長、副座長と行うとともに、関連テーマに知見のある有識者に事前にコメントをいただくなどの工夫を行った。</p>	主な議題		第1回	・検討方針、論点案、今後のスケジュール	第2回	・精神障害者への地域生活支援の推進について ・ゲストスピーカー講演 ➢精神科病院からの地域移行支援の現場から感じていること ➢愛媛県愛南町の実践より	第3回	・障害児を含めた児童へのインクルーシブな支援の推進について（幼児期・学齢期） ・ゲストスピーカー講演 ➢インクルージョンと発達障害の人たちの権利保障 ➢学齢期の発達障害児童の現状と課題	第4回	・障害者の就労、社会参加等の促進に関する支援の推進について（青壮年期・高齢期） ・ゲストスピーカー講演 ➢青壮年期の就労支援の現状と課題について	第5回	・報告書案検討	第6回	・報告書案検討
主な議題															
第1回	・検討方針、論点案、今後のスケジュール														
第2回	・精神障害者への地域生活支援の推進について ・ゲストスピーカー講演 ➢精神科病院からの地域移行支援の現場から感じていること ➢愛媛県愛南町の実践より														
第3回	・障害児を含めた児童へのインクルーシブな支援の推進について（幼児期・学齢期） ・ゲストスピーカー講演 ➢インクルージョンと発達障害の人たちの権利保障 ➢学齢期の発達障害児童の現状と課題														
第4回	・障害者の就労、社会参加等の促進に関する支援の推進について（青壮年期・高齢期） ・ゲストスピーカー講演 ➢青壮年期の就労支援の現状と課題について														
第5回	・報告書案検討														
第6回	・報告書案検討														
事業実施結果及び効果	一般施策と障害福祉施策のシームレス化が重要であり、両者を二元的に取り扱うのではなく、合理的配慮やインクルージョンなどの観点を踏まえ、一般施策のより高度化を目指していく必要がある点を指摘している点が新しい視点といえ、この指針を踏まえ、今後の障害福祉施策を検討していく上での指針になっていくと考えられる。														
事業主体	<p>郵便番号：100-6921  所在地：東京都千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビルディング  法人名：PwCコンサルティング合同会社  電話番号/E-MAIL：070-1180-7909 / takashi.tokairin@pwc.com</p>														

